



2023. 3. 9

発行：嶺南教育事務所
 TEL：0770-56-1309（代表）
 FAX：0770-56-1391
 MAIL：reo-k@chive.ocn.ne.jp

令和4年度嶺南教育実践フォーラムを終えて

開催テーマ「学び方をアップデートする」のもと、4日間の開催期間中、県内のみならず岡山県からも、のべ500名を超える方々にご参加いただきました。発表の内容はもちろんですが、参加者の方々の語り合いの中にも大きな学びがありました。様々な立場の人による対話によって、見える世界が広がっていくのだと改めて感じることができました。素晴らしい学びの場を提供してくださった発表者の皆様、そして共に学びを深めてくださった参加者の皆様に心より感謝申し上げます。ここでのつながりをもとに、さらに学校同士、先生同士がつながって学びが広がっていくことを願います。参加者の感想から、各セッションを振り返ります。

基調講演「対話する学校」 学習院大学教授 秋田喜代美氏

講演や交流を通して、学校における「対話」の意義について改めて考え直し、学びを深められた時間となりました。

- 「教えることは聴くこと、学ぶことは語ること」という言葉が印象的だった。また、子どもの主体性は、仲間や教師の主体性によって引き出されることもなるほどなあと感じた。
- 子どもが主体的に学び、自立した学習者になるために、授業における教師の役割や在り方について迷っていたが、「教師の応答力や共感力」「丁寧に観ること」などの言葉が大変心に響き、考えるヒントとなった。
- 有能な学び手の伴走者として学びのプロセスを見とる力が教師に求められていて、それをチーム学校として、学校文化にしていく、そのためのキーワードが「対話」であることが分かった。



テーマA：学ぶ喜びを知り、自ら進んで学ぶ意欲と力の育成

子ども達の主体的に学びに向かう力を引き出す授業や教師の在り方について考えるセッションとなりました。

- 課題の設定など、子ども達にまかせられるところはまかせて主体的に学習に関われるようにしていきたい。
- 子ども達に学び合いをさせるためのヒントをたくさんいただいた。
- 高校での教科における探究学習の様子を学ぶことができて、中学校での授業づくりの参考となった。

テーマB：誰もが安心して学べる教育環境づくり

全ての子どもにとって学びの場の保障をするために、安心できる教育環境づくりの必要性について考えるセッションとなりました。

- 通級について抱えておられる課題やその克服のために工夫されていることを知ることができ、参考になった。
- 通級指導者・担任・特コ・保護者の連携を密にすることで子どもの困難に寄り添えることが分かった。
- 意見交流の中から学級集団をよりよい方向に導くための方策に気づくことができた。

テーマC：ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

自ら『問い』をつくる力や見取り、評価について考えが深まったセッションとなりました。

- 5校の実践を聞くことができ、様々な市町の取り組みが参考になった。
- 活動・取組で終わってしまっているので、児童が自ら問いを持って取り組めるような工夫が必要だと感じた。
- 児童生徒をどう見取り、次の活動にどう促すかといった教師の在り方など大変勉強になった。

テーマD：新たな時代を見据えた教育環境づくり

学校に関わる一人ひとりが「ビジョン」や「思い」を持って自分事としてマネジメントしていくことの大切さを感じられるセッションとなりました。

- 安心してトライできる環境があり、使用することの効果を感じられれば、ICTが苦手な教員も取り組めることが分かった。
- 教員人材育成の必要性が高まる中、教師自身の自発的変容を促すための仕掛けとしての研修の取り組みが大変参考になった。
- 校内研究とOJTを結び付け、若手教員の育成を図ることが参考になった。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。「もっと話したかった」という感想が多く聞かれ、より一層語り合いの場、つながりを生む場としてのフォーラムの充実を目指していきたいと感じました。いただいたご意見は来年度以降のよりよいフォーラムづくりにつなげていきます。本当にありがとうございました。



《問い合わせ》

研修課 0770-56-1302